

## 「脱藩大名 請西藩主林忠崇」関連イベント開催要項

### 1 パネル展「脱藩大名 請西藩主林忠崇」

#### (1) 趣 旨

請西藩林家最後の藩主「林忠崇」は、1868年に徳川家存続のため、木更津市請西から出陣し、後の明治政府軍と戦い、1941年に94歳でこの世を去りました。

また、請西藩は、戊辰戦争にて藩主自ら脱藩し新政府軍と戦った結果、明治維新に全国で唯一取り潰された藩となりました。この処分によって失われた家格の再興に向け、様々な働きかけを実施し、20年以上の時を経てその願いが叶いました。

今回のパネル展では、幕末期以降を中心とした林忠崇を紹介いたします。

#### (2) 期 間 令和元年8月10日(土)～令和元年9月15日(日)

搬入・設置 令和元年8月 9日(金)

撤収・搬出 令和元年9月17日(火) [予備日18日(水)]

#### (3) 休館日 祝日及び振替休日

#### (4) 開館時間 月曜日 午前9時から午後5時

火曜日から日曜日 午前9時から午後9時

#### (5) 開催場所 スパークルシティ自習・ワークスペース

(6階南側・木更津市中央公民館前)

#### (6) 観覧料 無料

#### (7) 展示構成

##### 【第1章】請西藩林家とは？

林家は徳川家直参の旗本で、14代忠英が先代までの知行3千石に7千石を加え1万石を領しました。文政10年(1827)貝渕村に陣屋が設けられたのち15代忠旭により貝渕村から請西村へ陣屋を移しました。ここでは木更津市内に陣屋を構えた林家について、成立から代々の藩主について紹介します。

(主な資料)

・林氏系譜 ・献上兎掛方図 ・瑞兎奇談 ・林忠英肖像

##### 【第2章】林忠崇と戊辰戦争

幕末の動乱期、林忠崇が請西藩主となりました。慶応4年(1868)に徳川家存続のため、木更津市請西から出陣し、後の明治政府軍との戦に参加しました。ここでは仙台にて降伏を迎えるまでの軌跡を紹介します。

(主な資料)

・戊辰出陣記 ・歌(降伏待刑) ・伊庭八郎図 ・箱根戦闘図画

## 【終章】 その後の林忠崇

請西藩は慶応 4 年 5 月に所領が没収され、全国の大名で唯一取り潰しの処分を受けました。忠崇は身柄預けとなり謹慎の後、明治 5 年(1872)に免じられました。

その後、明治 26 年(1893)になると、家督を継いでいた甥の忠弘が男爵の位を与えられ、忠崇自身も翌年には従五位下に叙されることによって、家格の再興が果たされます。名誉回復が叶った後、忠崇がアジア・太平洋戦争開戦の年である昭和 16 年 (1941) に亡くなるまでの忠崇とその周囲の人々について紹介します。

(主な資料)

- ・林家再興始末略
- ・華族被列
- ・写真

## 2 講演会

- (1) 講師 ①稲葉 昭智 (当館副館長・学芸員)  
演題「真武根陣屋跡の調査」約 30 分  
②實形 裕介 氏 (千葉県文書館・木更津市史編集委員)  
演題「上総請西藩物語」約 90 分
- (2) 日時 令和元年 8 月 31 日 (土) 午後 1 時 30 分から 4 時 00 分
- (3) 会場 木更津市中央公民館多目的ホール (アクア木更津 B 館 3 階)
- (4) 申込 8 月 28 日 (水) まで電話にて受付
- (5) 定員 150 名 (先着順)